



▲第1回 1915(大正4)年 球史ここに始まる  
第1回大会始球式は村山龍平朝日新聞社長の手で投げられ球史の幕が開いた、右から村山社長、寛木審判委員長、平岡副審判委員長、鳥取中の鹿田投手



▲第10回 1924(大正13)年 球児の聖地ここに誕生  
大正13年8月1日、甲子園球場は晴れの英式をあげた。瀬川邸に建てられたことや、当時の球場周辺の姿がよくわかる



▲第1回 1915(大正4)年  
第1回大会時に使用したグラブとミット



▲第12回 1926(大正15)年 フレヨグラフ  
甲子園に行けないファンのために試合の経過を伝えるフレヨグラフ(透視板)。大阪中之島公園と京都公園に設けられ一球一打まで伝えた



▶第55回  
1973(昭和48)年  
雨に泣いた江川  
2回戦 作新学院一柱  
子爵は雨中の延長戦と  
なった。12回裏金子菊  
1死満塁、フルカウント  
からの江川の投球は高  
めに外れ、金子菊サヨ  
ナラ勝ち。盛り上がり  
着が打者長谷川。捕手  
小倉、球審永野



▲第25回 1939(昭和14)年 球場の懸垂幕  
戦意を告げるこの時代、甲子園球場にも  
「国民精神総動員」等の懸垂幕が掲げられた



▲第19回 1933(昭和8)年 中京高-明石中延長25回  
中京高1-0明石中の熱戦を物語る色しらすのスコアボード



▲第19回 1933(昭和8)年  
準決勝、中京高-明石中、延長  
25回戦のウイニングボール



▲第29回 1947(昭和22)年 甲子園に戻る  
戦後復活2年目、大会は本郷甲子園に戻った。大敗命はなかったが、夏空に六甲の山と白い雲が重なる



▲第51回 1969(昭和44)年 熱戦はついに引き分け再試合  
延長18回の末、引き分け再試合となり、「明日また戦いましょう」と両軍あいさつする松山  
高(右)、三沢岡チーム

# 11

◀第62回 1990(昭和55)年  
1年生で準備した早実・克木投手の背番号「11」



◀第67回 1985(昭和60)年  
大会中5本塁打を打った  
PL学園・清原選手のバット

▶第66回 1984(昭和59)年 1試合3本塁打  
1回戦 PL学園-早実 3回裏1死一塁、右中間に2点  
本塁打を放つPL学園・清原選手。清原選手はこの試合  
で大会初の1試合3本塁打を放つ



▲第78回 1996(平成8)年 奇跡の好投球  
決勝戦 松山商-早実 10回裏第3打1死満塁、3塁走者星子は本多の右飛で本塁を突くが  
右翼手矢野の好投球でタッチアウト。捕手石丸



◀第74回 1992(平成4)年  
星綾・松井選手が  
着用していたユニフォーム



▲第83回 2001(平成13)年  
宇宙飛行士・若田光一さんがスペース  
シャトル内で実験したボールを使用して  
始球した宇宙球

◀第80回 1998(平成10)年 力投・松坂投手  
決勝戦の対京都成章戦でノーヒットノーランを  
達成した横浜・松坂投手



▲第88回 2006(平成18)年  
優勝した早稲田美・高藤佑樹選手のスパイク(左)と、準優勝の駒大苫小牧・  
田中利大選手のクラブ(右)



▲第89回 2007(平成19)年 佐賀北初優勝  
決勝戦 対広陵戦、8回裏1死満塁で副島選手が左越えに逆転満塁ホームランを放つ



▲第40回大会から使われている現在の大優勝旗